

# 第2章

デジピクチャーワールドの

# 基本操作



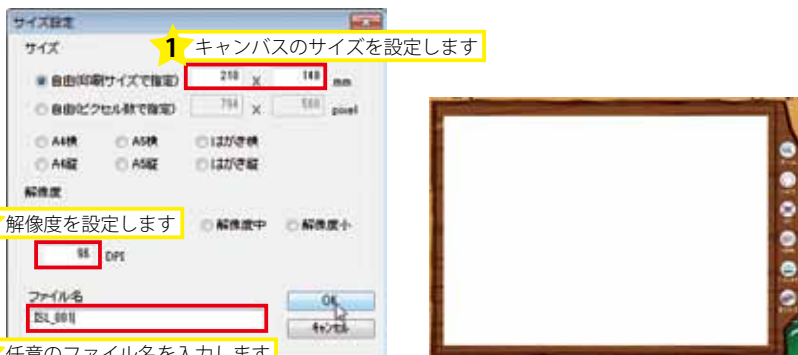
# 1. ペイントの基本操作①

第2章  
ペイントの基本操作①



## 新規キャンバスを作る

- 1 メニューバーの[ファイル]から[新規]-[白紙ファイルを作る]を選択します。



### Attention

授業で絵を描く場合は A4 サイズの 96dpi くらいの設定が理想です。

## ペンの種類を選ぶ

- 1 ツールバーから[ペン]を選択します。
- 2 コントロールの[ペンの種類]を選択します。



### Attention

各ペンの設定方法は P.24 に記載しています。

ペン



選択した色で描画ができるノーマルなペンです。カラーパレットから色を選択してキャンバスにドラッグすることで絵が描けます。

絵の具



2種類以上の色をパレットで混色することができ、筆の質感で絵を描くことができます。混色する範囲によって色の濃度を調整することができます。

クレヨン



選択した色でクレヨンの質感を持った描画ができるペンです。カラーパレットから色を選択してキャンバスにドラッグすることで絵が描けます。

蛍光ペン



選択した色で蛍光ペンの質感を持った描画ができるペンです。カラーパレットから色を選択してキャンバスにドラッグすることで絵が描けます。

金ぞくペン



金属とガラスの合わせて16種類の質感を描画できるペンです。カラーパレットからタイプを選択してキャンバスにドラッグすることで絵が描けます。

ふち取りペン



ペンの軸の色と縁の色を2色選択して描画ができる縁取りペンです。カラーパレットから色を2色選択してキャンバスにドラッグすることで絵が描けます。

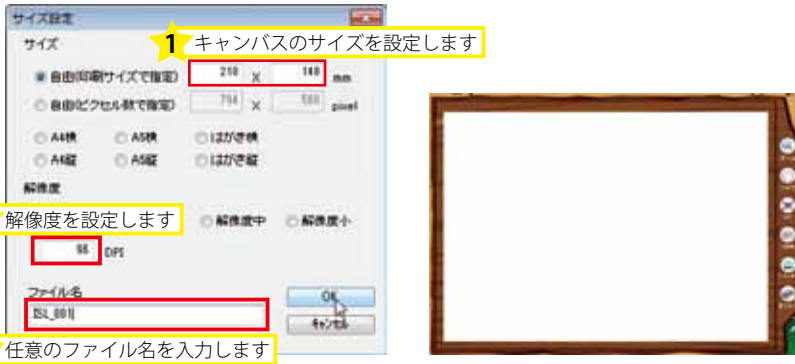
虹のペン



描画のスタートの色を選択することで7色の描画ができる虹色ペンです。カラーパレットからスタートの色を選択してキャンバスにドラッグすることで絵が描けます。  
※グレースケールカラーを選択すると虹色に描画することはできません。

## 絵を描く

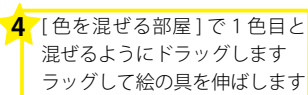
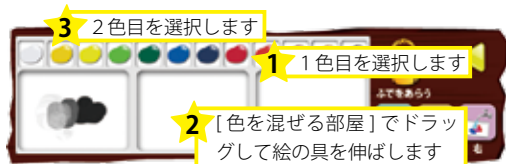
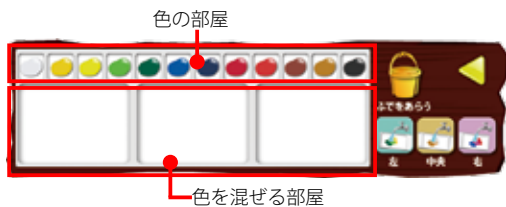
- 1 メニューバーの[ファイル]から[新規]-[白紙ファイルを作る]を選択します。



- 2 コントロールの[ペンの種類]を選択します。



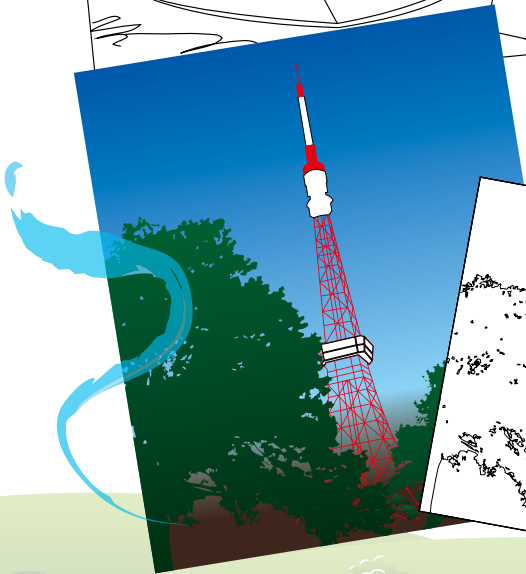
- 3 カラー設定をクリックします。



- 4 キャンバスにドラッグして絵を描きます。



## 2. ペイントの基本操作②

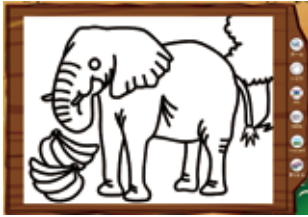


## イラストを開く

1 ツールバーから「開く」を選択します。



2 キャンバスに選択したイラストが開きます。



## 塗りつぶしツールで色を塗る

1 ツールバーから「ペン」を選択します。



2 コントロールの「流し込み」を選択します。

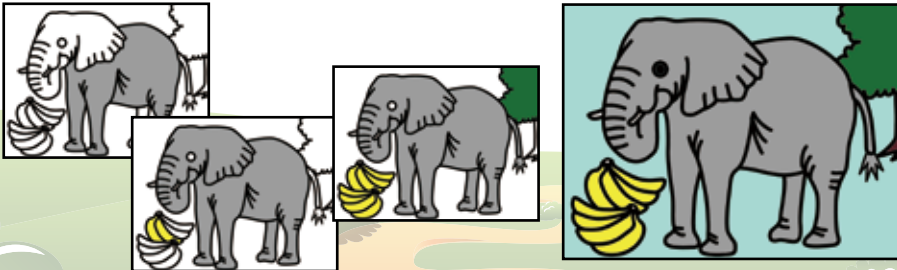


「流し込み」をクリックします



3 色の「カラーパレット」から任意の色を選択します。

4 キャンバス上で任意の場所をクリックすると、枠線内の塗りつぶしができます。

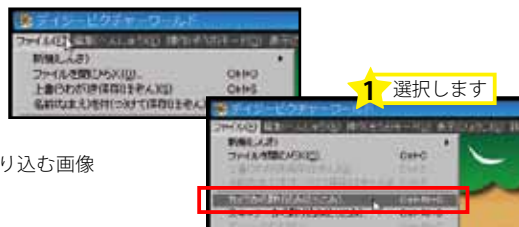


### 3. 画像編集モードの基本操作



## 写真をパソコンに取り込む

- 1 メニューバーの[ファイル]から[カメラから取り込み]を選択します。
- 2 [カメラから取り込み]ウインドウが表示されるので、取り込む画像を選択し[取込開始]ボタンを選択クリックします。



### Attention

一部のデジタルカメラは[カメラから取り込み]に対応しておりません。その場合は、エクスプローラーからパソコンへ取り込んでください。

### ■ 解像度について

詳しい解説は P.154 をご覧ください。

## 写真を補正する

- 1 ツールバーから[補正]を選択します。
- 2 [補正セクション]ウインドウに切り替わります。



ここでは [明るさ/コントラスト] の操作方を2種類紹介します。

### ギャラリー補正

9つの補正パターンが表示され、目で見て補正効果を選べる補正方法です。

- 3 コントロールメニューの [ギャラリー] から [明るさ] を選択します。  
※ここでは、例として [明るさ] を説明しています。



キャンパスの画像に、ギャラリー補正で選択した効果が反映されます。



### マニュアル補正

自分でパラメータを設定して、好みの補正効果の画像を作ることができる補正方法です。  
ここでは [明るさ/コントラスト] に搭載されている2つの操作方法と補正効果を説明します。

#### 明るさ



補正前



補正後

画像全体の明るさを設定します。教室や体育館などで写真を撮ると、暗く写ってしまうことがあります。そういった写真を正しい明るさに補正することができます。

#### コントラスト



補正前



補正後

画像の黒い部分から白い部分までの比率を設定します。日中に校庭で写真を撮ると、ぼやけた写真になってしまうことがあります。コントラストを調整することで滑らかなトーンの写真にすることができます。

- 4 補正値が確定したら [OK] を選択します。  
設定した補正値が元画像に反映します。



## 切りぬきで写真を切り抜く

- 1 ツールバーから[切りぬき]を選択します。



- 1 [切りぬき]を選択します

- 2 [領域選択]から[型]を選択し、[OK]をクリックします。



設定した形に切り抜かれます。

### Attention

選択した型が写真の上に表示され、切り抜かれる部分だけ原色で表示されます。



## 写真の回転

- 1 ツールバーから[回転]を選択します。



- 1 [回転]を選択します

- 2 [プリセット]から回転したい方向のボタンを選択し、[OK]をクリックします。



調整前



画像が設定した角度に変わります。

## [サイズ]でファイル容量を調整

### サイズ指定

- 1 ツールバーから[サイズ]を選択します。



- 1 [サイズ]を選択します

- 2 [サイズ指定]から任意のサイズを選択し、[OK]をクリックします。



- 3 [サイズ]を選択します  
学校でよく使われている画像サイズが表示されます。



調整前 (1024 × 768)

調整後 (320 × 240)

※ [横] × [縦] に上記で設定した値が反映します。

### マニュアル指定

- 1 ツールバーから[サイズ]を選択します。

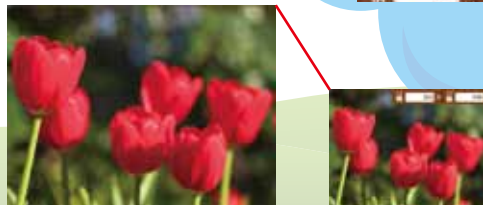


- 1 [サイズ]を選択します

- 2 エディットコントロールにキーボードで任意の値を入力し、[OK] をクリックします。



- 3 [OK]を選択します



調整前 (1024 × 768)

調整後 (320 × 240)

### Attention

[縦横比を固定]がONの場合、[横][縦]のいずれかの値を入力すると、もう片方の値を写真の比率に合わせて算出され、自動で入力されます。



## フィルタ効果を掛ける

- 1 ツールバーから [フィルタ] を選択します。



- 2 [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。



- 1 任意のフィルタを選択します



コントロールが表示され、選択したフィルタ効果が掛かります。

- 3 パラメータを設定して効果を決定します。

フィルタ効果を設定する方法が2種類あります。

### 例. クロスフォーカス

#### ギャラリー

[個数] をクリックするとギャラリーウィンドウが表示します。

- 1 [個数] をクリックします



- 2 任意の効果を選択します

#### マニュアル

スライダーを調整することで、フィルタ効果を細かく設定することができます。



- 3 スライダーまたは矢印ボタンをクリックして値を決定します

- 4 [OK] をクリックすると効果が反映されます。

## 部分的にフィルタ効果を掛ける

## 例. ぼかし

- ① ツールバーから [フィルタ] を選択します。



- ② [フィルタ選択] ウィンドウに切り替わります。



1 任意のペン先フィルタを選択します



選択したフィルタ効果がコントロールのプレビューに表示されます。

- ③ 描画をするペンの [太さ] を設定します。



スライダーを右へスライドすると効果の範囲が大きくなり、左へスライドすると小さくなります。



任意の部分をドラッグすると効果が反映します。

- ④ [OK] ボタンをクリックすると、フィルタ効果が確定します。  
※ [OK] ボタンは [ぼかし] フィルタのみに搭載しているボタンです。

**Attention**

効果が弱い場合は、[OK] ボタンを選択し、再度設定すると効果が強くなります。

# 文字の入力

1 ツールバーから [文字] を選択します。



1 キャンバスの任意の場所をクリックします



2 カーソルが点滅します

2 キーボードで文字を入力します。



## フォント

フォントを設定します。エディットに表示されるフォントがキャンバスに反映されます。

## サイズ

文字の倍率を設定します。

## 形状

[正体][斜体]を設定します。

## 色

文字の色を設定します。



## 向き

[ヨコ書き][タテ書き]を設定します。

## 太さ

[太さ]を設定できます。

## 位置

入力文字のテキスト内での位置を調整します。

## 削除

入力した文字テキストを削除します。

## ペイントで絵を描く

- 1 ツールバーから[ペン]を選択します。



- 1 キャンバスにカーソルを合わせてドラッグすると絵が描けます。



- 2 [消しゴム]ツールを選択し、任意の場所をドラッグすると描画した部分が消えます。

- 2 ペンの太さを調整します。



スライダーを右へスライドするとペン先が太くなり、左へスライドするとペン先が細くなります。

- 3 [領域選択] をクリックします。



- 1 キャンバスに選択した選択枠が表示されます

- 2 [描画] ボタンをクリックします



選択枠に合わせてルーラー描画ができます。

### ペンの種類

詳しい解説は P.187 をご覧ください。

## かざりで写真をデコレーション



[かざり] ボタンをクリックし、[スタンプ][ころころスタンプ][フレーム]から好きな装飾を選択します。

### 素材について

詳しい解説は P.159 をご覧ください。

### 共通操作

#### カテゴリ



さまざまな素材がカテゴリ別に分かれて搭載されており、分類されたカテゴリを選択することで、サムネイルから素材が選びやすくなります。

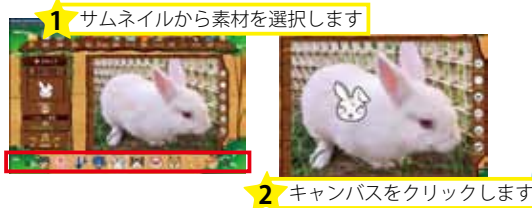
#### 濃度 (スタンプ・ころころスタンプのみ)



スライダーを右へスライドすると素材の濃度なり、左へスライドすると素材の濃度が薄くなります。

### スタンプ

画像にワンクリックで多彩なスタンプを押すことができます。デコレーション系のスタンプや学校行事のスタンプなど、画像にアクセントを加えてより楽しい画像編集を行うことができます。



### Attention

サムネイルとは…親指の爪ほどの大きさの写真を表す言葉で、本来の画像を縮小した画像のことです。

### ころころスタンプ

画像にドラッグをするだけで4種類のイラストが楽しめるころころスタンプを押すことができます。動物や植物、学校でおなじみの道具をモチーフにした素材を搭載しており、学級通信や校外学習の写真などを引き立てることができます。



### フレーム

画像に芸術分野からデコレーション系までの幅広いフレーム素材を付けることができます。集合写真にフレームを付けたり、生徒の作品に額縁を付けたり、さまざまな活用方法があります。



## 写真の合成術

- 1 ツールバーから[合成]を選択します。



- 2 選択した画像が表示されます



- 1 [開く]から被写体の画像を選択します

- 2 マウスのカーソルを背景画像(右側のキャンバス)に合わせます。



- 1 それぞれのキャンバスに[○]が表示されます

- 2 カーソルを動かすと[○]が連動して動きます

- 3 被写体画像(左側のキャンバス)を見ながら被写体のやや内側をドラッグすると、背景画像(右側のキャンバス)にペンで描いたように合成できます。

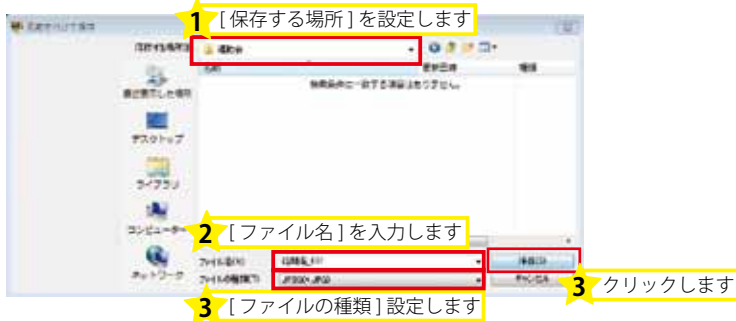


### Point

[ペン/消しゴム]の感度を上げることで、色の境界線認識が高まり、細かい部分をきれいに合成できます。

## 様々な保存方法

1 ツールバーから [保存] を選択します。



**保存形式について**  
 詳しい解説は P.155 をご覧ください。

- JPEG(\*.JPG)** 学校で一番使われている保存形式で圧縮しても画像の劣化が少ない。
- BMP(\*.BMP)** Windows 標準の保存形式で無圧縮の状態でも保存できる。
- GIF(\*.GIF)** Web ページや背景を白地の背景を透明にして保存できる。
- PNG(\*.PNG)** Web ページに用いられ圧縮率が高い。
- TIF(\*.TIF)** 無圧縮で保存ができるので高画質に保存することができる。

## 用紙に合わせて印刷

1 ツールバーから [印刷] を選択します。

